

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年4月5日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月5日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、あしたの委員会の定例会の議題は4つです。

まず、1つ目、議題1ですけれども、原子力災害対策指針の改正。

前々回の委員会、3月23日の委員会でも議題になりましたけれども、その回は意見が出て了承されなかったという案件です。そのときの意見は、パブリックコメントへの回答の書き方というものだったので、今回それを修正して再度諮るということです。指針の文言は特に変わっていません。

議題の2つ目ですけれども、令和3年度の放射線審議会の開催状況となります。

これは年1回放射線審議会の開催状況を報告することになっていまして、その報告ということになります。

昨年度は、放射線審議会は3回開催されまして、答申を1つ行ったほか、放射線防護の基本的な考え方の更新などを行ったということが報告されます。

議題の3つ目ですけれども、発電所の審査状況の報告です。

これは定例で四半期、3ヶ月に1回報告されている案件になります。特に新しい大きな進展があったわけではないのですけれども、新しい話としては、北海道の泊の審査について、審査会合で何の論点が残っているかというのを文書で整理するという工夫を行ったことが報告されることになります。

議題の4つ目は、核燃料施設等の審査状況の報告です。

こちらの審査状況の報告で、こちらは半年に1回報告しているというものになります。今、主に審査を行っているのは、常陽と日本原燃の再処理施設なので、そういう話と、あとは審査というものではないですけれども、東海再処理のガラス固化の作業が進められていますので、そういった点を中心に報告される見込みです。

あとは、1ページ目の一番下、4月6日の委員長会見のところですが、資料にあるとおり、質疑応答の後、新しい防災服の紹介というのがある予定です。

次、2ページ目に行きまして、4月11日の（6）ALPSの審査会合です。

これは元々4月4日に予定されていましたが、中止になりまして、4月11日で再設定されたということになります。

そろそろ出口が見えてきまして、あと1回か2回かみたいなそういう段階になってきています。

4月11日の（7）第1039回の審査会合です。

議題は、東通の地震動評価についてということで、プレート関連の地震はおおむね審査を終えていますので、残っているのは内陸地殻内地震ということでありまして、前回の9月17日のコメントへの回答と、あと、標準応答スペクトルの件の説明があるということのようです。

次、3ページ目に行きまして、要人面談のところ、鳥取県知事が来られます。

水曜日に鳥取県知事が来られて、荻野長官と面談をします。頭撮りは可能になっています。

あと、ゴールデンウィークが近づいてきましたので、その日程ですけれども、5月の第1週は委員会定例会と委員長会見はない予定です。あと、このブリーフィングについても、4月26日の火曜日に開催した後、金曜日、火曜日、金曜日と3回分開催がなくて、その次は5月10日の火曜日となる予定になっています。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—